

植物多様性センターの「センボンヤリの2枚舌」

センボンヤリがやっと咲きだしました。武蔵野の礫地の西隣のヤマボウシの間です。センボンヤリの花は、小さいながらも舌状花と筒状花の2種類からなり、舌状花はめしべのみの雌性花、筒状花は黄色い葯筒のある両性花です。しかも、舌状花は花冠が大小2枚に裂け、筒状花の花冠は放射相称形ではなく3裂の左右対称形です。今まで花後の閉鎖果の槍ばかり観察してきましたが、じっくり見ると春も面白い花です。



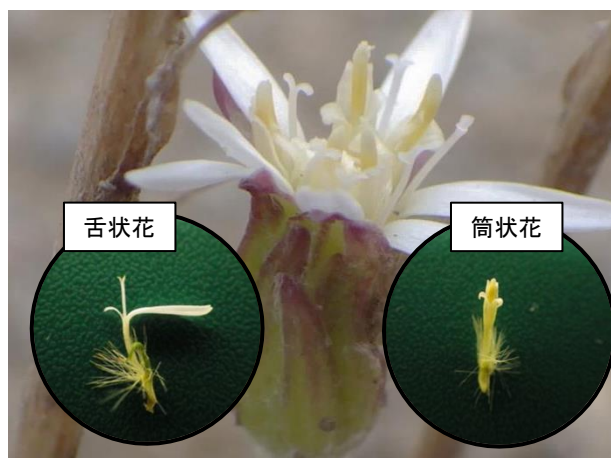
3月5日：少雨の影響か、葉より先に土の中から蕾が見えだした



3月15日：雨が降り、少しずつ蕾も膨らみ、葉も伸びだす



3月19日：昨年の枯れた閉鎖果の茎の間から開花を確認



花の拡大図：外側の舌状花は雌性花、筒状花は両性花